

近頃、強く思う事

～ネットワーク構築で地域の環境活動の実践に向けて～

環境カウンセラー（環境省認証登録）

宮城県地球温暖化防止活動推進員

今井 宏信

地球環境問題は、人類が直面する重要な課題ですが原因やプロセスを知り、問題解決に向けて考え、そして行動する事が必要です。

こうした環境に関する技術やモノづくりは日々研究が進み、社会としてのシステムづくりも着々と進められています。しかし、それらを動かす、享受するのはまさに“人”です。そして、社会の中で率先して環境問題に取り組む“人づくり（エコピープル）”が必要です。

「エコピープル」とは、幅広い環境問題に対する基本的な知識を有し、そこから生まれる問題意識を日常の行動に移そうとしている方々、あるいは既にそうした活動を行っている方々に対して、商工会議所として敬意を込めた名称です。

環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の推進に向けて、最低限必要とされる知識を身につけるための検定試験が 2006 年 10 月から始まりました。

仙台エコピープル協会の設立（平成 19 年 7 月）は「環境社会検定試験（eco 検定）」合格者が、横の連携を作ることでネットワークを構築し、その相乗効果で環境保全活動の推進を図り、「持続可能な社会」の実現に向けて行動することを目的とするものです。

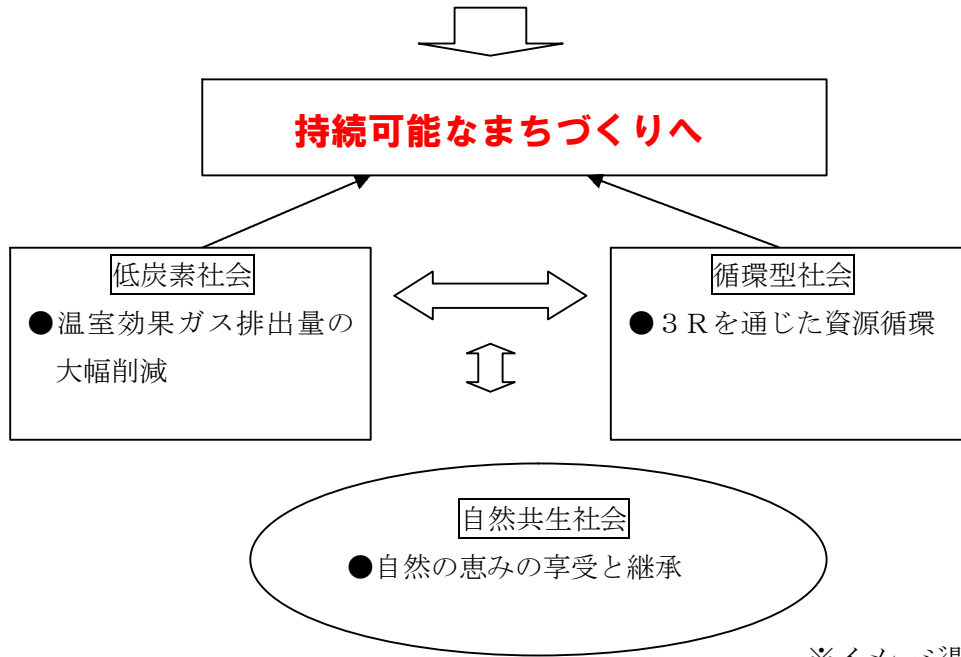
主な活動内容としては、①「持続可能な社会」の実現に向けての実施計画と行動②会員相互の情報交換・親睦の場の提供③会員相互の私製説明会資料（希望者）のライブラリー化④会員相互の勉強会、セミナーの開催⑤eco 検定試験制度の広報活動とセミナーの開催⑥産・学・官との連携⑦地域イベントの参加とサポート調整⑧仙台商工会議所との連携、等です。

今日の社会では、環境問題に関して市民や事業者の果たす役割は非常に大きく、その責任のあり方も変化しています。それはまさに環境を重視した「住民参加の時代」であろうと考えられ、豊かで快適な生活ではないかと考えられます。

地球温暖化の原因やその影響の現れ方は複雑ではありますが、しかし、「持続可能な社会」の構築によって、経済活動を維持・発展させつつ、その実現に向けた行動が重要です。

このためには、住民参加型のまちづくりで地球温暖化対策の観点からのまちづくりが、インフラ維持管理コストの軽減、中心市街地の活性化、快適な生活空間の創出等に資するとして考えられます。

地球温暖化対策の観点からのまちづくりが、高齢者等の移動制約者への対応、インフラ維持管理コストの軽減、中心市街地の活性化、快適な生活空間の創出等に資する。



『近頃、強く思う事』は、いま私達は、環境や社会の問題を単に理解する段階から、具体的な行動に移すべき時期にきておりこうした現況に鑑み、大きな飛躍の年として**チャレンジ**し「ネットワーク構築で地域の環境活動の実践に向けて一步前進する事」であります。

地域活動の輪の中に入り、どんな時でも変わらぬ姿勢で打ち込む諸先輩達の勇気を得て行動し、目標を達成したときには、みんなで喜び合い、次にはさらに高い目標を掲げ、また行動する。こうしたチャレンジの連続の中から「大きな飛躍」を得て、そして、「登米市地球温暖化対策への前進」にしたいものであります。

そして、私見ではありますが、従来の故郷は、故郷→郷里→いなか、としておりますが、これを従来から呼ばれている生まれ故郷、としてではなく、故郷→理想郷→みやこ、として地域住民の皆様と一緒に「住めばみやこ」として実現させたいものでもあります。